

2023年度

専門学校北海道福祉・保育大学校

社会福祉学科

授業科目 (科目ID)	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		担当教員 (実務経験)	田中 航 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 精神保健福祉士として就労継続支援事業所に勤務	
対象年次・学期	4年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15回	時間数	30時間
授業目的	精神保健福祉援助実習指導Ⅰを踏まえて、精神保健福祉士として実践力の向上を図ることを目的とする。				
到達目標	①精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態やニーズを把握する。②実践的な技術等を体得するとともに、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。③具体的な体験や援助活動を専門的知識及び技術として概念化し理論化し、体系立てていくことができる。				
テキスト・参考図書等	『最新 精神保健福祉士養成講座8 ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習』 一般財団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 中央法規出版				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	30%	グループディスカッションでの参加態度、担当教員からの問いかけに対する応答、課題・実習報告書の取り組み姿勢や内容、事前学習レポートの内容、実習報告会でのプレゼンテーションを総合的に評価する。左記試験は授業内における実習前知識試験のことを指す。		
	レポート	30%			
	小テスト	%			
	提出物	30%			
	その他	10%			
履修上の留意事項	これまでの実習を振り返り、自らの実習の目的、課題を再確認して臨んでください。また、現場で多くの成果を得るためには、事前準備が必要です。事前準備をしっかり行い実習に臨んでください。さらに、実習後は自らの体験を言語化し、振り返ることが重要です。実習が終了したら終わりではなく、自らの今後の課題を設定し、精神保健福祉士としての準備につなげてください。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション	実習の目的と意義		
	2	実習先種別と対象の理解	地域で生活する精神障害者		
	3	実習先種別と対象の理解	地域事業所の役割と機能		
	4	実習へのイメージ形成と課題の明確化	精神保健福祉援助実習における課題の整理		
	5	実習の準備と計画	実習計画書の作成、事前訪問に向けての準備		
	6	実習の準備と計画	場面を設定してのロールプレイ		
	7	特別講義	当事者から学ぶ		
	8	特別講義	当事者から学ぶ		
	9	実習の記録の書き方	実習日誌の書き方		
	10	実習契約について	必要書類の作成と保管、職業倫理の遵守と法的責任		
	11	実習前知識試験	知識確認		
	12	事後学習	実習における体験の振り返り、課題の整理		
	13	事後学習	実習報告書作成		
	14	事後学習	実習報告会資料作成		
15	実習報告会	全体総括			

2023年度

専門学校北海道福祉・保育大学校

社会福祉学科

授業科目 (科目ID)	精神保健福祉援助実習Ⅱ		担当教員 (実務経験)	田中 航 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 精神保健福祉士として就労継続支援事業所に勤務	
対象年次・学期	4年・通年		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)		時間数 105時間
授業目的	①実習を通して、精神保健福祉援助並びに障害者等の相談援助に係る専門的知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術を体得する。②実習を通して、精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活実態や生活上の課題について把握する。③精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。④総合的かつ包括的な地域生活支援と関連分野の専門職との連携のあり方およびその具体的内容を実践的に理解する。				
到達目標	障害福祉サービス事業所での配属実習を通して、精神保健福祉領域のソーシャルワーカーとして必要な知識・援助技術・価値態度等を習得し、それらを説明できる。				
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	<ul style="list-style-type: none"> ・実習先の評価 35%、訪問指導担当教員・学内教員などの教員による評価 65%にて行う ・実習先の評価は、実習評価表の総合評価が対象となる ・教員による評価は、訪問指導時の準備・態度・報告内容、実習日誌、実習報告書等が対象となる ・詳細は授業にて説明する 		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	100%			
履修上の留意事項	実習に臨むためには、良好な健康状態である必要がありますので、各自体調を自己管理し、不調の際はすみやかに病院を受診してください。その結果はもちろんです。実習状況等に関しても自己判断せずに、教員や実習指導者に報告・連絡・相談を密に行い、協働して進めていくことを忘れずに取り組んでください。また、利用者や実習先の協力に感謝し、謙虚に、貪欲に、主体性をもって実習に臨んでください。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
		対象者の理解及び、障害福祉サービス事業所の理解	利用者やその関係者、施設・機関・事業者・団体住民やボランティア等との基本的なコミュニケーション、円滑な人間関係の形成		
			利用者理解とそのニーズの把握		
			実習先施設の経営や管理運営の実際		
		ソーシャルワークの理解	援助計画(インテーク、アセスメント、プランニング)への理解		
			利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との支援関係形成		
			利用者やその関係者(家族・親族・友人等)への権利擁護(エンパワメントを含む)及び支援とその評価		
			精神保健福祉分野に係る多職種連携、チームアプローチの理解		
			地域社会におけるアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用に対する理解		

2023年度

専門学校北海道福祉・保育大学校

社会福祉学科

授業科目 (科目ID)	経済学	担当教員 (実務経験)	李 宏暉 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
対象年次・学期	4年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15回	時間数	30時間
授業目的	ミクロ・マクロ経済学の基礎知識の習得				
到達目標	経済学に関する基本的知識を身につけ、社会でおこる現象を経済学の視点から説明する事ができる。				
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて資料を配布する。				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	50%	期末テスト、レポート、授業中の発言などを総合して評価する。		
	レポート	40%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	10%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	経済学の考え方	経済学とは何か		
	2	ミクロ経済学の基礎	需要と供給		
	3	ミクロ経済学の基礎	価格と市場		
	4	ミクロ経済学の基礎	消費者理論		
	5	ミクロ経済学の基礎	生産者理論		
	6	ミクロ経済学の基礎	完全競争市場での均衡		
	7	ミクロ経済学の基礎	競争と独占		
	8	ミクロ経済学と労働経済	労働経済		
	9	マクロ経済学の基礎	経済成長		
	10	マクロ経済学の基礎	インフレ・デフレ		
	11	マクロ経済学の基礎	消費と投資		
	12	マクロ経済学の基礎	金融市場		
	13	マクロ経済学の基礎と労働経済	労働市場		
	14	ミクロ・マクロ経済学	全体復習		
15	全体のまとめ	まとめ			

2023年度

専門学校北海道福祉・保育大学校

社会福祉学科

授業科目 (科目ID)	福祉事務所運営論	担当教員 (実務経験)	安田 昌彰 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 社会福祉士として社会福祉士事務所を運営		
対象年次・学期	4年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15回	時間数	30時間
授業目的	住民に最も近い社会福祉の総合的行政センターである福祉事務所について、その法的な性格や歴史、組織体制や機能、各専門職種の業務内容、関係機関等との連携などについて学びます。				
到達目標	福祉行政の目的と使命、それを実践するための福祉事務所の組織体制と機能について説明できる。				
テキスト・ 参考図書等	『福祉事務所運営論 第4版』 宇山勝儀・船水浩行編 ミネルヴァ書房				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	80%	定期試験、授業中の発言内容や質疑など総合的に判断して評価します。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項	福祉事務所は住民にとっていちばん身近な福祉の窓口です。皆さんが住んでいる地域の福祉事務所を、実際に見学してくることは一層理解を深めることとなります。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	現代社会と福祉事務所の運営	・環境の変化 ・福祉事務所の運営		
	2	福祉事務所の成立と歴史的展開	・社会福祉主事 ・生活保護法 ・社会福祉事業法		
	3	福祉事務所の成立と歴史的展開	・福祉事務所制度の展開		
	4	福祉事務所の業務と組織	・組織 ・業務 ・運営方針 ・今日的課題		
	5	福祉事務所と関係社会資源との連携	・連携の意義と効果 ・福祉行政機関 ・保健・医療機関 ・施設 ・地域社会資源		
	6	福祉事務所の運営と民生委員の役割	・民生委員の位置づけ ・活動の実際		
	7	福祉事務所の専門職員とその役割	・査察指導員 ・専門職員の業務 ・現任訓練		
	8	社会福祉主事の専門性と倫理	・専門性 ・任用資格 ・援助技術の原理 ・業務と倫理		
	9	社会福祉主事の業務と社会福祉援助技術の展開	・基本要素 ・体系と方法 ・展開過程		
	10	社会福祉主事の業務と社会福祉援助技術の展開	・バイスティックの7原則 ・ケアマネジメント		
	11	福祉事務所の業務に関する法制度	生活保護制度		
	12	福祉事務所の業務に関する法制度	生活保護以外の制度		
	13	福祉事務所における自立支援の事例	・基本的コンセプト ・最重要視点		
	14	福祉事務所をめぐる最近の政策動向等と課題	最近の政策動向等 ・諸課題		
15	全体のまとめ	・まとめと振り返り			

2023年度

専門学校北海道福祉・保育大学校

社会福祉学科

授業科目 (科目ID)	国家試験対策Ⅱ		担当教員 (実務経験)	高泉 一生 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 社会福祉士として病院に勤務	
対象年次・学期	4年・通年		必修・選択区分	必修	単位数 8単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	60回	時間数 120時間
授業目的	社会福祉士国家試験・精神保健福祉士国家試験の共通科目および社会福祉士専門科目の学習を通して、各科目のポイントをおさえ、国家試験合格をめざす。また、内容を落とし込み、自己分析しながら学習に臨む姿勢を涵養する。				
到達目標	①自己分析を行いながら計画的に学習を遂行できる。 ②各模擬試験における自身の目標点に到達することができる。				
テキスト・参考図書等	適宜、資料を配布する				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	40%	・模擬試験結果、科目別基礎知識の習熟度など総合的に評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	60%			
履修上の留意事項	知識の習得のための講義と問題演習を中心に展開する。必要に応じて対策プリントを配布する。国家資格の取得は専門職の前提です。自らの学習状況、習得状況を把握し、計画的に受験勉強に取り組んでください。また、「やりっぱなし」では力がつきませんので、必ず自宅学習で復習し、1つ1つ確実な知識を身につけてください。				
	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション(高泉、田中、吉岡)	本科目のスケジュールおよび評価		
	2	学習計画の立案(高泉、田中、吉岡)	自己分析と学習計画立案		
	3	科目別基礎知識の習得(吉岡)	社会保障		
	4	科目別基礎知識の習得(吉岡)	社会保障		
	5	科目別基礎知識の習得(小林)	高齢者に対する支援と介護保険制度		
	6	科目別基礎知識の習得(小林)	高齢者に対する支援と介護保険制度		
	7	模擬試験の実施(高泉・田中・吉岡)	社会福祉士学内模擬試験(共通科目)		
	8	模擬試験の実施(高泉・田中・吉岡)	社会福祉士学内模擬試験(共通科目)		
	9	模擬試験の実施(高泉・田中・吉岡)	社会福祉士学内模擬試験(社会専門科目)		
	10	模擬試験の実施(高泉・田中・吉岡)	社会福祉士学内模擬試験(社会専門科目)		
	11	科目別基礎知識の習得(高泉)	保健医療サービス		
	12	科目別基礎知識の習得(高泉)	保健医療サービス		
	13	科目別基礎知識の習得(小林)	低所得者に対する支援と生活保護制度		
	14	科目別基礎知識の習得(小林)	低所得者に対する支援と生活保護制度		
15	科目別基礎知識の習得(高泉)	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度			

履修主題・履修内容

16	科目別基礎知識の習得(高泉)	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度
17	科目別基礎知識の習得(吉岡)	地域福祉の理論と方法
18	科目別基礎知識の習得(吉岡)	地域福祉の理論と方法
19	科目別基礎知識の習得(田中)	障害者に対する支援と障害者自立支援制度
20	科目別基礎知識の習得(田中)	障害者に対する支援と障害者自立支援制度
21	科目別基礎知識の習得(吉岡)	福祉行財政と福祉計画
22	科目別基礎知識の習得(吉岡)	福祉行財政と福祉計画
23	科目別基礎知識の習得(高泉)	社会調査の基礎
24	科目別基礎知識の習得(高泉)	社会調査の基礎
25	科目別基礎知識の習得(田中)	就労支援サービス
26	科目別基礎知識の習得(小林)	更生保護
27	科目別基礎知識の習得(吉岡)	相談援助の基盤と専門職
28	科目別基礎知識の習得(吉岡)	相談援助の基盤と専門職
29	科目別基礎知識の習得(高泉)	相談援助の理論と方法
30	科目別基礎知識の習得(高泉)	相談援助の理論と方法
31	科目別基礎知識の習得(高泉)	社会理論と社会システム
32	科目別基礎知識の習得(高泉)	社会理論と社会システム
33	科目別基礎知識の習得(鈴木)	権利擁護と成年後見制度
34	科目別基礎知識の習得(鈴木)	権利擁護と成年後見制度
35	科目別基礎知識の習得(泉)	人体の構造と機能および疾病
36	科目別基礎知識の習得(泉)	人体の構造と機能および疾病
37	模擬試験の実施(高泉・田中・吉岡)	社会福祉士学内模擬試験(共通科目)
38	模擬試験の実施(高泉・田中・吉岡)	社会福祉士学内模擬試験(共通科目)
39	模擬試験の実施(高泉・田中・吉岡)	社会福祉士学内模擬試験(社会専門科目)
40	模擬試験の実施(高泉・田中・吉岡)	社会福祉士学内模擬試験(社会専門科目)
41	科目別基礎知識の習得(高田)	現代社会と福祉
42	科目別基礎知識の習得(高田)	現代社会と福祉
43	模擬試験の実施(高泉・田中・吉岡)	全国模擬試験(社会専門科目)
44	模擬試験の実施(高泉・田中・吉岡)	全国模擬試験(社会専門科目)
45	科目別基礎知識の習得(田中)	心理学理論と心理的支援
46	科目別基礎知識の習得(田中)	心理学理論と心理的支援
47	科目別基礎知識の習得(吉岡)	福祉サービスの組織と経営

48	科目別基礎知識の習得(吉岡)	福祉サービスの組織と経営
49	学習計画の見直し・立案(高泉、田中、吉岡)	学習計画の振り返り、今後の学習計画の立案
50	苦手科目の克服と知識の定着(高泉、田中、吉岡)	苦手科目の対策
51	苦手科目の克服と知識の定着(高泉、田中、吉岡)	苦手科目の対策
52	苦手科目の克服と知識の定着(高泉、田中、吉岡)	苦手科目の対策
53	模擬試験の実施(高泉・田中・吉岡)	全国模擬試験(共通科目)
54	模擬試験の実施(高泉・田中・吉岡)	全国模擬試験(共通科目)
55	模擬試験の実施(高泉・田中・吉岡)	全国模擬試験(社会専門科目)
56	模擬試験の実施(高泉・田中・吉岡)	全国模擬試験(社会専門科目)
57	苦手科目の克服と知識の定着(高泉、田中、吉岡)	苦手科目の対策
58	苦手科目の克服と知識の定着(高泉、田中、吉岡)	苦手科目の対策
59	苦手科目の克服と知識の定着(高泉、田中、吉岡)	苦手科目の対策
60	全体のまとめ(高泉・田中・吉岡)	全体のまとめ

授業科目 (科目ID)	国家試験対策Ⅱ	担当教員 (実務経験)	田中 航 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 精神保健福祉士として就労継続支援事業所に勤務
対象年次・学期	4年・通年	担当教員 (実務経験)	吉岡 秀典 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 社会福祉士として病院に勤務
授業形態	講義	担当教員 (実務経験)	泉 共基 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 看護師として病院に勤務
		担当教員 (実務経験)	小林 智子 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 社会福祉士として成年後見に従事
		担当教員 (実務経験)	鈴木 道代 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	高田 友子 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 社会福祉士として社会福祉協議会に勤務
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

2023年度

専門学校北海道福祉・保育大学校

社会福祉学科

授業科目 (科目ID)	国家試験対策Ⅲ		担当教員 (実務経験)	田中 航 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 精神保健福祉士として就労継続支援事業所に勤務	
対象年次・学期	4年・通年		必修・選択区分	必修	単位数 6単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	45回	時間数 90時間
授業目的	精神保健福祉士国家試験合格に向け、精神保健福祉士専門科目の模擬問題、過去問題等を活用した問題演習並びに模擬試験を実施する。				
到達目標	①模擬試験において、6割以上の得点率を獲得すること ②精神保健福祉士国家試験に合格すること				
テキスト・ 参考図書等	『精神保健福祉士国家試験過去問解説集2024』中央法規出版 問題演習を中心に展開する。適宜、講義及び対策プリントを配布する。				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	グループディスカッションでの参加態度、教員の問いかけに対する応答、精神保健福祉士模擬試験結果などを総合的に評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
その他	40%				
履修上の 留意事項	国家試験の取得は、専門職の前提です。自らの学習状況、習得状況を把握し、計画的に受験勉強に取り組んでください。また、「やりっぱなし」では力がつきませんので、必ず自宅学習で復習し、1つ1つ確実な知識を身につけてください。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	科目別知識の習得(田中)	精神疾患とその治療		
	2	科目別知識の習得(高泉)	精神保健の課題と支援		
	3	科目別知識の習得(田中)	精神保健福祉相談援助の基盤		
	4	科目別知識の習得(田中)	精神保健福祉相談援助の基盤		
	5	科目別知識の習得(田中)	精神保健福祉の理論と相談援助の展開		
	6	科目別知識の習得(田中)	精神保健福祉の理論と相談援助の展開		
	7	科目別知識の習得(田中)	精神保健福祉に関する制度とサービス		
	8	科目別知識の習得(田中)	精神障害者の生活支援システム		
	9	確認テスト(田中)	確認テスト		
	10	確認テスト(田中)	確認テスト		
	11	苦手科目の克服と知識の定着(高泉、田中)	苦手科目の対策		
	12	科目別知識の習得(田中)	精神疾患とその治療		
	13	科目別知識の習得(高泉)	精神保健の課題と支援		
	14	科目別知識の習得(田中)	精神保健福祉相談援助の基盤		
15	科目別知識の習得(田中)	精神保健福祉相談援助の基盤			

履修主題・履修内容	16	科目別知識の習得(田中)	精神保健福祉の理論と相談援助の展開
	17	科目別知識の習得(田中)	精神保健福祉の理論と相談援助の展開
	18	科目別知識の習得(田中)	精神保健福祉に関する制度とサービス
	19	科目別知識の習得(田中)	精神障害者の生活支援システム
	20	確認テスト(田中)	確認テスト
	21	確認テスト(田中)	確認テスト
	22	苦手科目の克服と知識の定着(高泉、田中)	苦手科目の対策
	23	科目別知識の習得(田中)	精神疾患とその治療
	24	科目別知識の習得(高泉)	精神保健の課題と支援
	25	科目別知識の習得(田中)	精神保健福祉相談援助の基盤
	26	科目別知識の習得(田中)	精神保健福祉相談援助の基盤
	27	科目別知識の習得(田中)	精神保健福祉の理論と相談援助の展開
	28	科目別知識の習得(田中)	精神保健福祉の理論と相談援助の展開
	29	科目別知識の習得(田中)	精神保健福祉に関する制度とサービス
	30	科目別知識の習得(田中)	精神障害者の生活支援システム
	31	確認テスト(田中)	確認テスト
	32	確認テスト(田中)	確認テスト
	33	苦手科目の克服と知識の定着(高泉、田中)	苦手科目の対策
	34	模擬試験の実施(高泉、田中)	全国模擬試験
	35	模擬試験の実施(高泉、田中)	全国模擬試験
	36	苦手科目の克服と知識の定着(高泉、田中)	苦手科目の対策
	37	苦手科目の克服と知識の定着(高泉、田中)	苦手科目の対策
	38	模擬試験の実施(高泉、田中)	学内模擬試験
	39	模擬試験の実施(高泉、田中)	学内模擬試験
	40	苦手科目の克服と知識の定着(高泉、田中)	苦手科目の対策
	41	苦手科目の克服と知識の定着(高泉、田中)	苦手科目の対策
	42	模擬試験の実施(高泉、田中)	学内模擬試験
	43	模擬試験の実施(高泉、田中)	学内模擬試験
	44	苦手科目の克服と知識の定着(高泉、田中)	苦手科目の対策
	45	苦手科目の克服と知識の定着(高泉、田中)	苦手科目の対策

2023年度

専門学校北海道福祉・保育大学校

社会福祉学科

授業科目 (科目ID)	国家試験対策Ⅳ		担当教員 (実務経験)	阿部 幸恵 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 看護師として病院に勤務	
対象年次・学期	4年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15回	時間数	30時間
授業目的	介護福祉士国家試験にかかる科目のうち、特に重点的に学習を要する科目に関する知識の復習を通し、介護福祉士国家試験の合格を目指す。				
到達目標	自己分析しながら計画的に国家試験に向けた学習に取り組み、国家試験合格基準を満たすことができる。				
テキスト・ 参考図書等					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	40%	・全国模擬試験、学力評価試験、科目別基礎知識の習熟度など総合的に評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	60%			
履修上の 留意事項	レジュメや資料の配布、問題演習などを行います。国家試験合格には学生自身の意欲、集中力が不可欠となりますので、欠席せず、積極的に授業に臨むことを期待します。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	科目別学習(吉岡)	社会の理解		
	2	科目別学習(吉岡)	社会の理解		
	3	科目別学習(高橋)	介護の基本		
	4	科目別学習(阿部)	介護の基本		
	5	科目別学習(阿部)	発達と老化の理解		
	6	科目別学習(高橋)	認知症の理解		
	7	科目別学習(泉)	障害の理解		
	8	科目別学習(泉)	障害の理解		
	9	科目別学習(喜田)	こころとからだのしくみ		
	10	科目別学習(山谷)	生活支援技術(家政学)		
	11	科目別学習(山谷)	生活支援技術(身体介護)		
	12	科目別学習(高橋)	介護過程		
	13	科目別学習(阿部)	医療的ケア		
	14	科目別学習(高橋)	総合問題		
15	全体を振り返って(田中)	全体のまとめ			

授業科目 (科目ID)	国家試験対策Ⅳ (19f416)	担当教員 (実務経験)	田中 航 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 精神保健福祉士として就労継続支援事業所に勤務
対象年次・学期	4年・通年	担当教員 (実務経験)	喜田 俊恵 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 看護師として病院に勤務
授業形態	講義	担当教員 (実務経験)	吉岡 秀典 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 社会福祉士として病院に勤務
		担当教員 (実務経験)	泉 共基 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 看護師として病院に勤務
		担当教員 (実務経験)	高橋 綾 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 介護福祉士としてケアハウスに勤務
		担当教員 (実務経験)	山谷 博美 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 介護福祉士として介護老人保健施設に従事
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

2023年度

専門学校北海道福祉・保育大学校

社会福祉学科

授業科目 (科目ID)	卒業研究Ⅱ		担当教員 (実務経験)	田中 航 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 精神保健福祉士として就労継続支援事業所に勤務	
対象年次・学期	4年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	4単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	30回	時間数	60時間
授業目的	本科目は、4年間の集大成として3年次から引き続き自身の関心あるテーマにつき探求し、まとめることを目的とする。また、その過程において、情報収集能力、説明力、分析力、思考力などを身につける。				
到達目標	自身の関心あるテーマで卒業研究をまとめ、発表することができる。				
テキスト・ 参考図書等					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	・文献収集、文献の読み込み、計画的実施、成果物(規定事項の遵守、構成・論理性、考察)、プレゼンテーション(パワーポイント・抄録の出来栄、発表、質疑応答)を総合的に評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	50%			
	その他	50%			
履修上の 留意事項	全体指導と個別指導にて行う。本校に入学してから4年間、みなさんは福祉についてさまざまな角度から学んできました。その集大成として本研究に取り組むことで、福祉に対する理解を深め、福祉人としての自らのアイデンティティを再確認してほしいと思います。指導教員との連携も含め、自主的、主体的に行動して進めてください。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	個別指導(田中、吉岡)	論文の作成と個別指導		
	2	個別指導(田中、吉岡)	論文の作成と個別指導		
	3	個別指導(田中、吉岡)	論文の作成と個別指導		
	4	個別指導(田中、吉岡)	論文の作成と個別指導		
	5	個別指導(田中、吉岡)	論文の作成と個別指導		
	6	個別指導(田中、吉岡)	論文の作成と個別指導		
	7	個別指導(田中、吉岡)	論文の作成と個別指導		
	8	個別指導(田中、吉岡)	論文の作成と個別指導		
	9	個別指導(田中、吉岡)	論文の作成と個別指導		
	10	中間報告(田中、吉岡)	中間報告と質疑応答		
	11	中間報告の振り返り(田中、吉岡)	進捗状況の確認と今後の方向性		
	12	個別指導(田中、吉岡)	論文の作成と個別指導		
	13	個別指導(田中、吉岡)	論文の作成と個別指導		
	14	個別指導(田中、吉岡)	論文の作成と個別指導		
15	個別指導(田中、吉岡)	論文の作成と個別指導			

16	個別指導(田中、吉岡)	論文の作成と個別指導
17	個別指導(田中、吉岡)	論文の作成と個別指導
18	個別指導(田中、吉岡)	論文の作成と個別指導
19	個別指導(田中、吉岡)	論文の作成と個別指導
20	個別指導(田中、吉岡)	論文の作成と個別指導
21	個別指導(田中、吉岡)	論文の作成と個別指導
22	抄録の作成(田中、吉岡)	抄録の作成
23	抄録の作成(田中、吉岡)	抄録の作成
24	発表資料の作成(田中、吉岡)	発表用資料、発表原稿の作成
25	発表資料の作成(田中、吉岡)	発表用資料、発表原稿の作成
26	発表資料の作成(田中、吉岡)	発表用資料、発表原稿の作成
27	プレゼンテーションと発表準備(田中、吉岡)	発表及び質疑応答のプレゼンテーションについて
28	プレゼンテーションと発表準備(田中、吉岡)	発表及び質疑応答のプレゼンテーションについて
29	卒業研究発表会(田中、吉岡)	発表と質疑応答
30	卒業研究発表会(田中、吉岡)	発表と質疑応答

2022年度

専門学校北海道福祉・保育大学校

社会福祉学科

授業科目 (科目ID)			担当教員 (実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
対象年次・学期			必修・選択区分	単位数	
授業形態			授業回数(1回90分)	時間数	
授業目的					
到達目標					
テキスト・ 参考図書等					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%			
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
15					

2023年度

専門学校北海道福祉・保育大学校

社会福祉学科

授業科目 (科目ID)	キャリアデザインⅣ		担当教員 (実務経験)	田中 航 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 精神保健福祉士として就労継続支援事業所に勤務	
対象年次・学期	4年・通年		必修・選択区分	必修	単位数 3単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	23回	時間数 45時間
授業目的	本科目は、各人が自分自身の『こうありたい』という自己イメージを明確にし、その実現のためにどうすれば良いのかを考えるとともに、4年間を見据えた各学年における方向性を構想・実践することを目的としている。				
到達目標	①自らが希望する就職を実現できる。②計画的な学習でトリプル合格を目指すとともに受験等に必要の手続きを適切に行うことができる。				
テキスト・ 参考図書等					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	・提出物の提出状況や内容により評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	100%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	各人が自分自身というものを客観視でき、自分自身の将来についての方向性を持ち、その実現のための手掛かりを得ること。また有意義な学生生活を送ることができると期待します。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	目標設定	個人目標とクラス目標の検討・決定		
	2	年間スケジュールの確認と行動計画	スケジュールを考慮した学習計画の立案		
	3	就職に向けた準備①	就職セミナー		
	4	就職に向けた準備②	就職セミナー		
	5	就職に向けた準備③	就職セミナー		
	6	就職に向けた準備④	求人票の見方、履歴書の作成、就職活動の理解		
	7	就職に向けた準備⑤	提出書類、受験報告書・内定通知書の提出などの手続きの理解		
	8	就職に向けた準備⑥	自己理解の促進		
	9	資格取得に向けて①	介護福祉士国家試験への取り組み		
	10	資格取得に向けて②	介護福祉士国家試験への取り組み		
	11	資格取得に向けて③	介護福祉士国家試験への取り組み		
	12	資格取得に向けて④	行動計画の確認、分析、修正		
	13	資格取得に向けて⑤	介護福祉士国家試験受験申込		
	14	資格取得に向けて⑥	社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験申込		
15	資格取得に向けて⑦	社会福祉士・精神保健福祉士国家試験への取り組み			
16	資格取得に向けて⑧	社会福祉士・精神保健福祉士国家試験への取り組み			
17	資格取得に向けて⑨	社会福祉士・精神保健福祉士国家試験への取り組み			

履修主題・履修内容	18	資格取得に向けて⑩	行動計画の確認、分析、修正
	19	資格取得に向けて⑪	介護福祉士国家試験受験報告-自己採点と分析
	20	資格取得に向けて⑫	社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験報告-自己採点
	21	振り返りと自己評価	4年間およびクラス目標の振り返り
	22	社会人になるにあたって	キャリアビジョンのデザイン
	23	社会人になるにあたって	“社会人”になるということ

